

第 1 3 7 3 回 京都市教育委員会会議 会議録

1 日 時 平成 2 9 年 4 月 2 7 日 木曜日

開会 9 時 3 0 分 閉会 1 1 時 3 0 分

2 場 所 京都市役所内 教育委員室

3 出席者	教 育 長	在田 正秀
	委 員	星川 茂一
	委 員	奥野 史子
	委 員	高乗 秀明
	委 員	笹岡 隆甫

4 欠席者 委 員 鈴木 晶子

5 傍聴者 1 人

6 議事の概要

(1) 開会

9 時 3 0 分，教育長が開会を宣告。

(2) 前会会議録の承認

第 1 3 7 2 回京都市教育委員会会議の会議録について，教育長及び全委員の承認が得られた。

(3) 議事の概要

ア 議事

報告 3 件，議案 1 件

イ 非公開の承認

議案 1 件，報告 1 件については，人事に関する案件及び個人の権利利益を害するおそれがある事項に関する案件のため，京都市教育委員会会議規則に基づき，非公開とすることについて，全委員の承認が得られた。

ウ 報告事項

報告 平成 3 0 年度京都市立学校教員採用選考試験について

(事務局説明 有澤 教職員人事課長)

平成30年度京都市立学校教員採用試験について、資料に基づき説明申し上げる。

はじめに、平成30年度採用試験の特徴について、採用予定数は300名程度、4年連続300名を超える募集を行う。また、試験制度の見直しとして、小学校での英語教育活動推進に向けた有為な人材の確保のため、小学校英語教育推進コースの受験資格について、英検準1級相当以上としていたが、2級相当以上に緩和することとしている。加えて、小学校英語教育推進コースの1次試験の加点は、昨年度に引き続き最大15点とする。

次に、各項目に沿って説明申し上げる。

今後、少子化の中で採用数を徐々に減少させていくことも考慮していく必要があるが、採用数の平準化を図り、30年度採用予定数については、一般選考、特別選考を併せて300名程度、4年連続300名を超える採用規模となる。内訳は、小学校で20名減、栄養教諭は5名減、その他は前年度並みとなっている。

次に、日程について、できるだけ早く優秀な人材を確保していくため、昨年度から1次試験の筆記試験を7月下旬から7月初旬に早めるなど、試験日程全体を大幅に前倒ししており、今年度についても、昨年度と同様のスケジュールで実施する。

また、試験制度の主な変更については、学習指導要領の改訂にあたって、小学校英語の教科化や中学校でのオールイングリッシュ授業など高度化が図られる見込みであることから、冒頭に説明申し上げた試験制度の見直しより、高い英語運用能力を持った人材の確保に努めていく。

最後に広報活動の充実について、大学への出張説明会及び教員採用セミナーを実施し、受験者数の拡大・有為な人材の確保に努めているとともに、4月23日に実施した採用説明会では計362名の方々に参加いただいた。

(委員からの主な意見)

【在田教育長】 小学校における英語教育の一層の充実を図るため、小学校英語教育推進コースにおける資格要件を英検準1級以上等から2級以上等へ変更した。小学校の免許状を保有する志願者にとって、これまでハードルの高かった英検準1級以上という条件を緩和した形となるが、高い英語力が求められることに変わりない。そうした中で意欲があり、かつ英語指導の素地がある方にチャレンジいただきたい。

【事務局】 文科省の委託事業における、ある教育機関の調査研究の中で、大学の小学校教職課程における目標として、卒業までに英検2級程度の英語力を身に付けるべきとの提言があり、こうした動向も参考にしながら、この度の資格要件を変更したところである。

【星川委員】 英語教育活動推進に向けた人材確保のため、教職課程を設定している大

学等と連携されているのか。

【事務局】 大学訪問などを通じて、学内状況の聞き取りや本市の採用状況を報告するなど、本市教育を担うための素地を有する人材確保に向けて定期的に交流・情報交換を行っている。

【星川委員】 大学では学生の英語力育成に向け、学内でどのように取り組まれているのか。

【高乗委員】 共通した指針は無いが、将来的な小学校英語の教科化に向けて各大学で独自科目を設定しており、京都教育大学では必修科目を設けている。但し、カリキュラムの編成上、各大学とも英語科目は1コマ程度しか設定できないのが実状。

学習指導要領改訂に伴い、小学校でも今後は英語指導が必要になることを学生にも周知しているが、英語力のレベルは様々。京都教育大学では現在、他の資格との公平性も考慮しながら、社会的要請の高まりを受け、英検受験料を免除して資格取得を推奨しているが、こうした取組を通じて英語力の育成に努めることが重要と考えている。

【星川委員】 教育委員会では英語教育に関連した教員研修を実施されているのか。

【事務局】 英語指導力の向上に向けた研修を開催しており、中核教員が参加し、校内研修等で他の教員に伝達するなどして全市的に還元している。

【奥野委員】 教師塾では英語教育に特化した講座は展開されているのか。

【在田教育長】 現在そうした講座展開はしていないが、今後、校種別講座での実施を検討するなど、幅広く対応してまいりたい。

【事務局】 現在、教師塾卒塾者で本市採用教員の勤務状況等について分析を行っている。講座のあり方については、そうした分析結果とも関連させながら検討してまいりたい。

【奥野委員】 中学校・高校段階で教員を志望する生徒も一定数存在する。そうした生徒に対して、これからの教員は英語指導力を身に付けることが必要であり、英検等の資格取得を推奨するなど、早期段階からアナウンスができれば教員養成の観点からも理想的。

【高乗委員】 各校で英語教育の充実が求められる中、英語力を有するだけでなく、他の教員へOJTを積極的に行うなど、英語教育活動の中心的な役割を担い、全体の英語指導力の底上げに寄与できるような人材を確保してほしい。また、そうした教員を各校に配置し、全市的に英語教育活動の推進を図ることが重要。

【事務局】 引き続き、そうした人材の確保に努めるとともに、英語指導力を有する教員については、校内のリーダーとしての役割を担っていくような人事的配慮も考慮してまいりたい。

【星川委員】 小学校英語研究会の活動実績は如何か。

【事務局】 京都が開催地となり、小英研の全国大会を数回開催するなど活発に活動している。また、子どもたちを対象にした本市英語事業「グローバルキッズ」では、小英研から毎年30名～40名程度の教員に協力いただくなど、各方面で積極的に取り組んでいただいている。

【笹岡委員】 小学校英語推進コースを受験するメリットは。受験機会の拡大につながれば良い。

【事務局】 一次試験の個人面接において、加点措置を最大15点とするなど、通常の小学校区分と異なる配点としている。但し、採用予定数は小学校区分全体の内数である。

【星川委員】 受験及び合格実績は如何か。

【事務局】 29年度採用試験では志願者31名、合格者9名。28年度採用試験では4名の合格者となっている。

報告 市立高校・総合支援学校高等部生徒の卒業後の進路状況について

(事務局説明 辰巳 学校指導課担当課長、伊藤 総合育成支援課長)

お手元の教育委員会資料「市立高校生の進路状況について」に基づき、説明させていただきます。

市立高校は現在10校ある。そのうち、定時制を2校で併置しており、卒業生のいない京都工学院高校を除く全日制9校で1,780名、定時制2校で71名、合計1,851名の卒業生がいる。

まずは、1ページ目の箱書きをご覧ください。

市立高校全体では、卒業生1,851名中、進学者が1,306名、70.5%、就職者が225名、12.2%、「その他」は主に浪人生であり、その他アルバイト等で320名、17.3%となっている。

(2) 普通科系5校の状況である。堀川、西京、紫野、塔南、日吉ヶ丘の普通科系5校で4年制大学への現役進学率は67.8%となっている。昨年度から4.6%増加し、過去最高となっている。

これについては、平成26年度に新しい高校入学者選抜制度を導入した際の、3年前の入学生が今春の卒業生となっているところであり、学習意欲が高い生徒が入学し、入学後も将来展望を高める学習に取り組ませてきた結果、とくに紫野、塔南、日吉ヶ丘を中心に進学者数の増加がみられているところである。

3ページには、今説明した数値の詳細を記載している。

内訳とある「進学」の行の一番上が国公立4年制大学となっており、市立高校卒業生全体の約2割にあたる19.6%が国公立大学に進学している結果となっている。

4ページをご覧ください。

進学率と就職率の年度の推移を表す表である。それぞれ今年度の全国の数値は未発表であり、直近の値は昨年度の値であるが、中段の表をご覧くださいと、市立高校9校の4年制大学進学率が60.9%であり、全国の4年制大学進学率が49.3%となっている。

1 ページ目の箱書きにおもどりいただきたい。

(3) 堀川高校、西京高校の2校の結果である。今年度の主なトピックを掲載している。なお、ここでは、進学者数ではなく、合格者数での数値となるのでご留意いただきたい。

堀川高校においては、現役、東大合格者数は、昨年度3名から大幅に増加し、12名と過去最多となっている。現役京大合格者数は32名となっている。

また、西京高校においても、現役京大合格者は過去最多となる28名、現役東大合格者数2名となっている。

次に(4) 京大特色入試の結果である。京都大学の特色入試は、社会の各界や世界を牽引するグローバルリーダーを育成するために、昨年度から設けられたものであり、今回は全体で120名が合格しており、そのうち西京高校から6名が合格している。この制度では全国の高校で最も多い合格者を出している。堀川高校からも1名が合格している。

(5) 次に、紫野高校、塔南高校、日吉ヶ丘高校においては、先ほども申したが合格者数が飛躍的に増えており、とりわけ国公立大学の合格者についても、前年度から概ね2～3倍増やしている状況である。

(6) 芸術系高校2校である。銅駝美術工芸高校では卒業生92名中26名が国公立大学に合格した。京都堀川音楽高校では卒業生40名中23名が国公立大学に合格し、改革元年と位置付けている平成22年度の城巽学舎への校舎移転後最多となる結果を出した。

次に工業2校である。(7) 洛陽工業・伏見工業高校の全日制2校においては15年連続、また伏見工業・西京高校の定時制2校においては、13年連続で、学校あっせん就職内定率100%を達成している。

また、市立高校全体でも、学校斡旋による就職内定率100%を達成している。景気回復を背景に多くの企業が昨年度以上に積極的に求人確保に動いている状況はあるものの、就職先の開拓も含めて丁寧な就職指導の結果ととらえている。

続いて、「2 各校の状況について」、要点のみ説明する。

(1) 堀川高校である。東大12名をはじめ、京大、阪大、神大で計60名が現役合格している。ちなみに資料には記載していないが、医学部医学科にも12名合格している。

西京高校全日制では、東大・京阪神大合わせて65名など、堀川に比肩する進学実績となっている。

(3) 紫野から次頁の(4) 塔南、(5) 日吉ヶ丘であるが、先ほど説明した通り、国公立大学の現役合格者が飛躍的に増加しているとともに、各校の特徴である紫野高校、日

吉ヶ丘高校では、英語・国際系の学部への進学、塔南高校教育みらい科では、教育系の大学への進学者が目立っているところである。

次に芸術系であるが、京都堀川音楽高校については、音楽系大学最高峰の東京藝術大学7名、京都市立芸大9名を含み、卒業生40名の半数以上となる23名が現役で国公立大学への合格を果たしている。

工業系2校である。各校とも、身につけた技術を生かし、上場企業をはじめ、製造業から運輸業まで幅広く就職をしている。また、伏見工業高校では、京都市の中級技術職員として建設局・上下水道局の4名を含む、11名が行政機関へ採用されている。

3ページ、4ページについては、今ご説明した内容についての表を掲載している。

以上が平成29年3月卒業の市立高校生の進路状況の説明である。

今後も教職員、委員会事務局一丸となって、生徒一人ひとりが夢を実現できる市立高校づくりに取り組んでまいりたい。

続いて、京都市立総合支援学校高等部卒業生の進路状況について報告させていただく。

総合支援学校では、障害のある生徒一人一人の進路希望を実現するため、生徒の社会自立を目指した教育活動、職場実習等の取組を積極的に実施している。平成28年度については、300の企業・事業所において、合計882回の職場実習を実施した。

とりわけ、職業学科においては、学校での学習と企業での長期的な実習を組み合わせた「デュアルシステム」を導入し、3年間で約30週間の職場実習を実施しているほか、PTAとも連携して職場開拓を行っている。また、平成25年4月に設置した白河総合支援学校東山分校が、昨年度4月に東山総合支援学校として独立開校し、職業学科の定員については生徒や保護者のニーズに基づき設置当初の2倍に拡大してきたところである。

そのような取組の成果として、今春の卒業生223名のうち83名が就職、就職率は37.1%となり、平成18年度以降30%以上を維持している。昨年度の44.2%に比べると低下しているものの、直近の全国平均の29.4%と比較しても高水準である。

職業学科については、全体で80.4%の就職率である。就職者数は白河総合支援学校が卒業生34名中33名、鳴滝総合支援学校が23名中22名であり、就職率は非常に高い。

東山総合支援学校は今年度2期生40名が卒業し、就職が23名、就労移行支援事業所等が8名、就労継続支援B型が1名、自立訓練・生活介護・在宅福祉利用が2名、その他が6名となっている。

卒業後も2年間は教員がアフターフォローを行っている。

(委員からの主な意見)

【在田教育長】 堀川・西京高校以外の普通科系高校の国公立合格者数が伸びたのは、選抜改革によるものか。

【事務局】 選抜改革によって、進路展望を持った生徒やその学校で学びたいという目的を持った生徒が入学していることの他にも、学校においても個々の生徒に対応する教育を実施し、学年団が責任を持って進路指導を行う形態をとるなど、進路対策を変えてきた経緯もあり、合格者数の増加につながったと考えている。

選抜改革によって学力が高い生徒が入ってきたからということだけが理由ではないが、生徒間の学力差は縮まってきているという状況にはある。

【星川委員】 4月26日に府立高校の進路状況と合わせて広報されたということだが、府立高校の状況はどうだったのか。

【事務局】 府立高校においても国公立合格者数が伸びており、4年制大学への現役進学率は過去最高の54.8%になったと伺っている。

【星川委員】 総合支援学校高等部の卒業生について、28年度も就職等に向けて御尽力いただいたことが分かる。PTAと連携した職場開拓というのはどのような取組なのか。

【事務局】 夏期に白河・東山総合支援学校の保護者が教員と共に100社以上の企業を訪問し、職場実習や雇用の受入の依頼、障害者就労の普及・啓発を行っている。

【在田教育長】 東山総合支援学校の進路が「その他」の6名の状況は。

【事務局】 職場実習中、あるいは進路先を検討している状態である。

【笹岡委員】 職場実習中というのは実際に企業に行って実習を行っているのか。進路先を検討中とは具体的にはどのような状態か。

【事務局】 実際に企業で実習を行っている、実習を行う予定の生徒が3名、在宅でフォローをしている生徒が1名、企業就労だけでなく福祉的就労を含めて進路先を検討している生徒が2名である。

東山総合支援学校は「地域総合科」を設置しており、地域との共同活動に取り組み、社会人として自立できる力を養うことを目的としている。就職だけでなく、府立の高等技術専門校への入学等、多様な進路に対応している。

【星川委員】 高等技術専門校とはどのようなものか。京都府立のものしかないのか。

【事務局】 市立のものはない。府立のものは伏見区の竹田にあり、職業訓練等を実施している。

エ 非公開の宣言

教育長から、以下の議案1件、報告1件について、会議を非公開とすることを宣言。

議案 1 件，報告 1 件に係る会議録について，人事に関する案件及び個人の権利利益を害するおそれがある事項に関する案件のため非公開

(4) その他

○教育長から，前会会議以降の主な出来事等について報告

4 月 5 日 向島二の丸小学校・二の丸北小学校 統合式

4 月 7 日 下京雅小学校開校式

4 月 18 日 平成 29 年度全国学力・学習状況調査

4 月 25 日 教育福祉委員会

○事務局から当面の日程について説明

(5) 閉会

11 時 30 分，教育長が閉会を宣告。

署 名 教育長